



窪町だより

窪町小学校令和4年度9月号

窪町小学校ホームページ URL: <http://www.bunkyo-kyo.ed.jp/kubomachi-ps/>

「わたしのよさ・あなたのよさ」

西幅孝弘

- * 「勢いがありました。これからも楽しんで続けていってください。」
「各々が一生懸命演奏しているのがとても印象的です。時折ハッとするととてもよいサウンドがありました。」
「飲み込まれそう。子どもにしか出せない高揚感です。いつまでもなくさないでくださいね。」
真夏の太陽が容赦なく照りつける8月3日東京都小学校吹奏楽コンクールに出場した子どもたちへ審査員の方々からいただいたメッセージです。猛暑の中、毎日のようにトレーニングを積んできた窪町小の仲間51名は、府中の森芸術劇場のステージで堂々と演奏しました。広い観客席から見つめていて迫力と繊細な音の重なりが胸に迫りました。
- * 真夏の体育館では、地域少年剣道の通い合宿も行われていました。空調の効果も感じられないほどの暑さの中で、地域の警察署や近隣のみなさんと子どもたちが熱心に稽古をしていました。美しく正座をする姿にも武道のこころを感じました。
- * 5年生や栽培委員は当番を決めて菊の水やり、施肥、消毒作業に取り組んできました。任意で全ての作業日に参加してくれた友だちもいました。小さかった菊の苗も今では手のひらいっぱいぐらいに育ちました。
- * 中学校に向けて25m泳ぎ切れることを目標にした夏季水泳。25名が参加しました。子どもたちの意識の高さは「自律した学習者」そのものでした。学ぶ意欲に指導者9人も全力で応えていました。
各ご家庭におかれましても習い事や自分の目標に向けて挑戦していた子どもたちがたくさんいたのではないかと思います。そんな頑張りも子どもたちから聞いてみたいと思っています。それぞれが手の届きそうな目標をみつめ、弛まず挑戦した夏です。

2学期、私たちは気持ちを新たに、子どもたち一人ひとりが自分の目標をみつめ、挑戦できるよう指導にあたります。「明日が楽しみ」な学校づくりを目指します。そして引き続き子どもたちのこころと身体の安全・安心を守ります。子どもたちが互いのよさや頑張りを認め合い、自己肯定感を高め、安心して学べる環境作りを充実させていきます。

2019年内閣府は「子ども・若者白書」を公表しています。日本の若者の「自己肯定感」は諸外国の若者に比べて低く、欧米など6か国との比較でもっとも低い結果となりました。「自分には長所があると感じている」の項目で「そう思う」の回答は16.3%という結果でした。昨年度の全国学力・学習状況調査における本校の「そう思う」の回答は53.8%という結果です。「どちらかというと思う」を合わせると82.8%となりました。同年代の全国の平均からも際立つ結果であると言えます。このことは子どもたちが家庭や学校、地域で温かく見守られ、認められ励まされて生活している状況を表しています。

変化と想定外の事象が山積する社会にあっても、それぞれの挑戦や認め合いをもって自己や他者のよさに気づき、たくましく生きていくことができる子どもたちを育てていきたいと考えています。



図工室 子どもとつくる 楽しい時間

(図画工作科 神田 真理)

窪町小学校では、第4学年以上の学年が図工室で図工専科の授業を受けています。

今年度の4年生は、休み時間のちょっとした時間を見つけて図工室に訪れ、共同絵の具を眺めてみたり、お手伝いをしてくれたりする子どもたちがいます。初めての図工室…きっと期待に胸を躍らせて来てくれたのだな、大切な場所なのだな、と嬉しく思います。出来上がった作品からも、子どもたちの楽しそうな姿が目に見えてきます。

どの学年も、絵を描く、のこぎりや電動糸のこぎりを使って板を切る、テラコッタ粘土で陶芸をする、ICT を活用するなど、様々な材料や用具に出会い、学年の発達段階に合わせて幅広く色々な表現に挑戦しています。

手を動かしながら試行錯誤をし、自己決定をして作品をつくっていく過程では、色や形の面白さ、美しさを味わいながら感性を育む中で、様々な学びがあります。

子どもが自分自身の「いいな、楽しいな」と思うことをたくさん見つけ、作り出す喜びを味わい、彩り豊かな生活を創造できることを願っています。

集団下校訓練を実施しました。

(避難訓練担当 橋爪純子)

7月13日(水)に集団下校訓練をしました。自然災害が起こるかもしれないという想定で、緊急時、引率教員と共に迅速に集団下校を行うことをねらいとしました。

当日、訓練の合図と共に、趣旨を伝え、校長先生からの話をみんな静かにしっかり聞くことができていました。下校準備も静かに行き、時間通りに粛々と訓練を進めることができました。

本校には、集団下校グループ「ピンク」「青」「白」「赤」があります。みんな自分がどの色なのかを覚えていたでしょうか？今年、各コースが密にならないように出て行く門を分けました。

「ピンク」は正門、「青」は裏門、「白」は飼育小屋側の門、「赤」は育成室と

訓練をして課題だと感じたことの一つに、「自分は今日どのように帰るのか」ということが分かっていない児童がいるということがあります。

日頃からお子さんと、何か起きたときにはどう行動するのか、どこに集まるのか話し合っておいてください。できれば、一日の家族のそれぞれの動きを確認しておくといいですね。

お子さんがさみしい思いをしないよう、家庭と学校で連携して守っていきたく強く感じた訓練でした。

いじめ対策について

(いじめ対策・対応委員会担当 浜崎 秀教)

窪町小学校では、いじめ対策・対応委員会を組織し、人間関係における諸問題に対して迅速に対応しています。いじめ案件が発生した際には、学級担任・管理職・学年主任・養護教諭・スクールカウンセラーが集まり対応を話し合います。また、何か事案が発生しなくても、定期的に上記のメンバーが集まり、細かな人間関係についての報告会を行い未然防止に努めています。ご心配なことがありましたら、すぐに対応させていただきますので学校までご連絡ください。

なお、学校のホームページに、いじめ対策・対応委員会における活動の概要を載せています。ご覧いただけたら幸いです。